

「3密」を避けて

保存版

災害発生時は

# 迷わず避難!

## 感染症に対応した避難の6つのポイント

1 手洗い、換気等  
感染予防の徹底



避難行動判定フローで確認

2 避難所の混雑が心配  
知人、親戚宅や  
在宅避難を検討



チェックリストで確認

3 普段からの非常持出品に加え  
体温計・マスク等を  
持って避難



4 地域によっては避難所が  
増設されることがあるので  
避難の前に確認を



5 知人、親戚宅や自宅の  
危険度・経路は、必ず  
ハザードマップ  
で確認



6 避難先で体調が  
悪くなったときは  
直ちに申告を



▶ 平時に確認! ▶

## 避難行動 判定フロー

ハザードマップで  
自分の家の場所を  
確認してみましょう



ハザードマップポータルサイト  検索



家がある場所に色が  
塗られていますか?

はい

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い  
土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市町村  
からの避難情報を参考に避難しましょう

## 非常持出品チェックリスト

※赤字は感染症対策の必需品です

- マスク
- 消毒液
- 体温計
- ウエットティッシュ
- 携帯電話
- モバイル充電器
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 電池
- 薬
- 生活用品
- 非常食
- 水
- 携帯トイレ
- 身分証明書
- お金
- ヘルメット
- 通帳・印鑑

梅雨や集中豪雨、台風による河川の増水・はん濫、土砂災害が起こりやすくなる季節を迎えています。新型コロナウイルス感染症の感染リスクと災害の両方から身を守るため、災害発生時には、できるだけ「密閉・密集・密接」を避けて安全な場所に迷わず避難を。豪雨や台風に備えて避難の流れを確認しておきましょう。

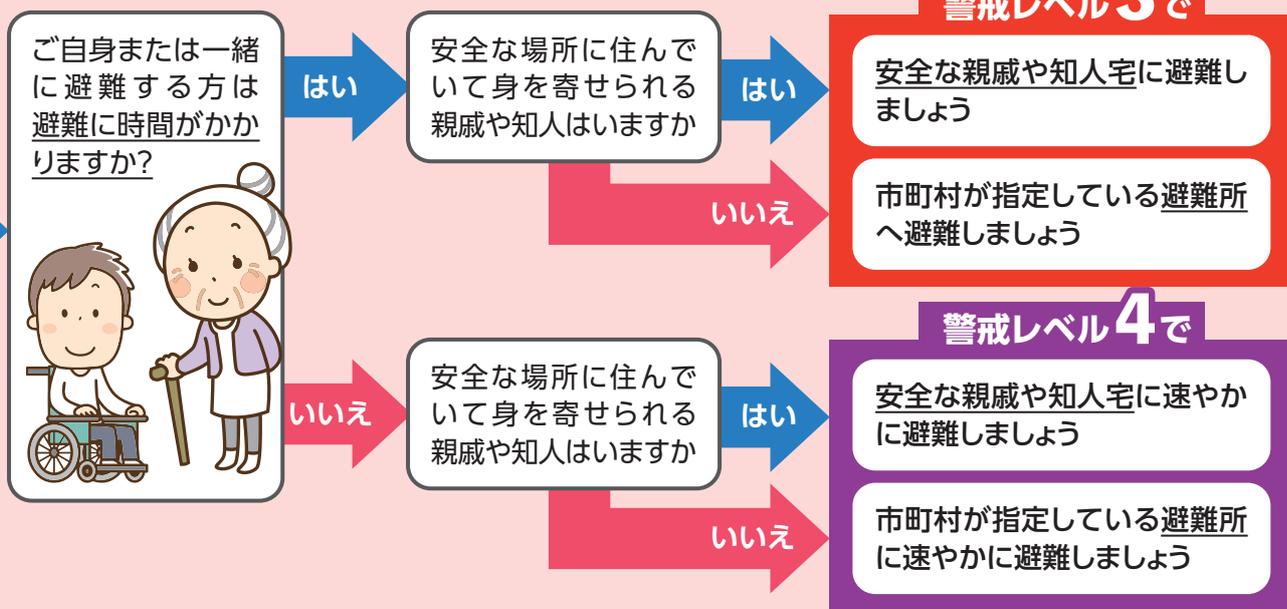
# 台風・豪雨時に備えて ハザードマップを確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

**!** 災害の危険性があります  
避難所等安全を確保できる場所への避難が必要です

例  
外

※浸水の危険があっても、次の2つを満たせば、自宅での安全確保も可能です  
① 浸水する深さよりも高い部屋に避難が可能であること  
② 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にあること

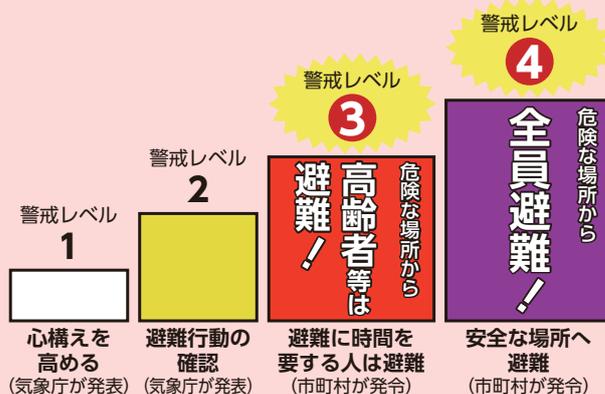


**!** 危険な場所から

警戒レベル3で高齢者などは避難、警戒レベル4で全員避難※1です

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です



最新の気象情報などはこちらから▶  
秋田県防災ポータルサイト



お問い合わせ先  
秋田県総合防災課 ☎018-860-4563